

卓越大学院プログラム 事後評価結果

機関名	筑波大学	整理番号	1804
プログラム名称	ヒューマニクス学位プログラム		
プログラム責任者	加藤 光保	プログラムコーディネーター	柳沢 正史

卓越大学院プログラム委員会における評価

〔総括評価〕 S：計画を超えた取組が行われ、優れた成果が得られていることから、本事業の目的を十分に達成できたと評価できる。
〔コメント〕 卓越した学位プログラム、「知のプロフェッショナル」を養成する体制等の構築については、生命医科学と理・工・情報学の両分野の融合による5年一貫制博士課程カリキュラムが整備されている点、講義はすべて英語で開講され達成度と学習目標の見える化を実現している点、両分野の主査・副査による定期的な進捗状況レビューが実施されている点、設定されたKPIがほとんど達成され今後も適切に更新される見込みである点、完全ダブルメンター制とリバーズメンター制により学内外の約100名のメンター教員によって効果的な研究指導を実践している点、民間企業や国立研究開発法人、海外提携大学等と横断的に連携したグローバルな研究指導体制を確立している点、全学学位論文審査委員会の下で厳正な学位審査が実施されている点において、卓越した学位プログラムにより高度な「知のプロフェッショナル」を養成する体制が構築されたものとして高く評価できる。 修了者の成長については、インターンシップ、国際ラボローテーション、サイエンスリーダーズセミナー等のカリキュラムは、分野や立場を超えた多様な人的ネットワークの構築につながるものとして評価できる。海外の国際会議における学生の受賞等の研究成果は、学界に認められたものとして評価できる。修了者のアンケートにおいて、高度な専門的知識・研究能力、自ら課題を発見し解決に挑む能力、独創的な能力、企画立案、関係者との調整、統率する能力、他者と協働する力等の能力が身に付いたとの回答が90～100%に上っている点、修了者全員が本プログラムに満足し、知の創成力、リーダーシップ、コミュニケーション能力、国際性を習得できたと回答している点において、修了者が十分な成長を自覚しているものとして評価できる。 キャリアパスの構築については、大学の教員や研究員、研究機関の研究員、高度な知識を必要とする医師、筑波大発医療ITベンチャーの起業メンバー等の実績を上げている点は、修了者の社会での様々な活躍の道を切り開いたものとして評価できる。さらに、国内外の企業並びに海外の大学や研究機関へのキャリアパスの拡大を期待したい。本プログラムの修了者と在学生から成るヒューマニクス同窓会が組織されており、社会における修了者の活躍状況を長期にわたり把握していくことが期待される。 大学院全体への波及効果及び事業の継続・発展については、第3期大学院改革が完了している点、先進的な学際融合教育を実施するため本プログラムが先導となって第4期大学院改革が進行中である点は、大学院改革が順調に進められているものとして高く評価できる。さらに、様々な学内外の資金を活用し自走化に取り組んでいく予定であることから、補助期間終了後の本プログラムの継続・発展が期待される。